

要 望 書

地域高規格道路

熊本環状道路の整備促進について



熊本西環状道路（花園 I C～下硯川 I C）開通式（H29.3.26）

令和元年 7 月 2 9 日

地域高規格熊本環状道路建設促進期成会

地域高規格道路

熊本環状道路の整備促進について

(国道57号熊本東バイパスの部分立体交差化)

約100万人が生活する熊本都市圏において、慢性的な交通渋滞の緩和を図ることは従来からの課題であり、「平成28年熊本地震」では、九州縦貫自動車道をはじめとする幹線道路の被災・寸断により深刻な交通渋滞が発生するなど、災害時における既存道路ネットワークの脆弱性が露呈され、災害発生時のリダンダンシー確保のためにも環状道路の整備は急務であると再認識したところです。

平成29年3月には、熊本駅周辺とのアクセス機能を有する熊本西環状道路の一部区間の供用が開始され、整備中の区間についても熊本市において事業を推進しているところです。

今後「平成28年熊本地震」からの復興を更に加速させるためにも、「熊本環状道路」の整備を促進し、熊本都市圏における渋滞緩和及び熊本駅・阿蘇くまもと空港等の重要拠点とのアクセス向上により生まれるストック効果の早期発現が非常に重要です。

このようなことから、国道57号熊本東バイパス・国道3号熊本北バイパス・熊本西環状道路等によって構成される100万都市圏の外環状道路である地域高規格道路「熊本環状道路」は、「中九州横断道路」・「熊本天草幹線道路」等との広域連絡機能を併せ持つ交通ネットワークの核となる道路であり、早期整備は必要不可欠です。

つきましては、次の事項について特段の御配慮をお願いいたします。

○ 国道3号熊本北バイパスと一部熊本環状道路を構成する国道3号植木バイパスの整備を図ること。

- ・ 国道3号熊本北バイパスの暫定2車線区間の早期4車線化
- ・ 国道3号植木バイパス事業区間（3.3km）の早期開通
- ・ 国道3号植木バイパス未事業化区間（3.7km）の早期事業化

- 国道57号熊本東バイパスの部分立体化などにより、都市内交通の円滑化を図ること。
 - ・ 主要交差点5箇所（新南部・保田窪北・神水・田井島・流通団地入口）の立体交差化
 - ・ 主要渋滞箇所の早期解消
- 熊本環状連絡道路の国直轄による早期事業化を図ること。
 - ・ 熊本西環状道路と九州縦貫自動車道を繋ぐ熊本環状連絡道路（3km）及び中九州横断道路（大津町～熊本市）の早期事業化
- 熊本環状道路整備のため、必要な予算を確保すること。
 - ・ 国道3号熊本北バイパス・植木バイパス、国道57号熊本東バイパス、熊本環状連絡道路及び熊本西環状道路の整備にかかる予算確保
- 道路等社会資本整備に必要な公共事業関係予算を増額するとともに、令和2年度道路関係予算は所要額を確保すること。
- 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策予算について、令和3年度以降も同規模の予算措置を継続すること。
- 平常時、災害時を問わず安定的な輸送を確保するため「熊本西環状道路」を重要物流道路へ位置づけること。

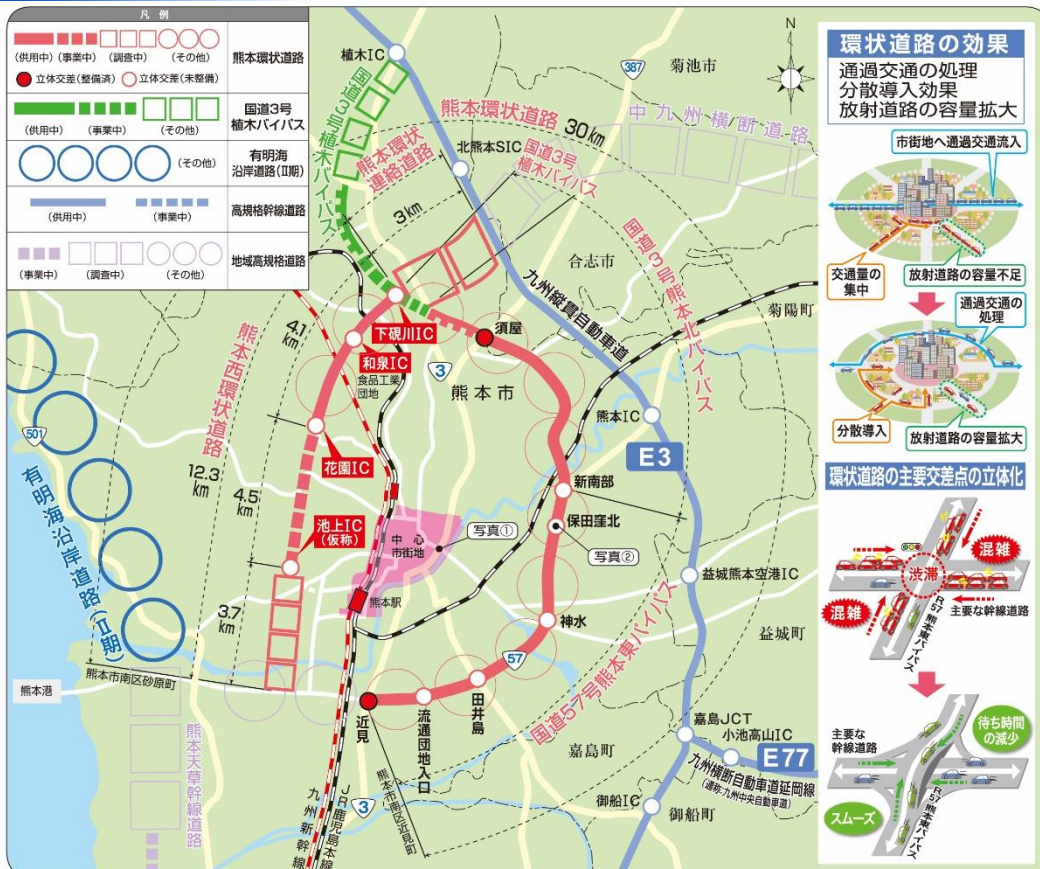
令和元年7月29日

地域高規格熊本環状道路建設促進期成会

会長 熊本市長 大西 一史



熊本環状道路



地域高規格熊本環状道路建設促進期成会

会 長	熊 本 市 長	大西 一史
副 会 長	合 志 市 長	荒木 義行
副 会 長	熊本商工会議所会頭	久我 彰登
副 会 長	熊本経済同友会代表幹事	甲斐 隆博
理 事	宇 土 市 長	元松 茂樹
理 事	大 津 町 長	家入 勲
理 事	菊 陽 町 長	後藤 三雄
理 事	嘉 島 町 長	荒木 泰臣
理 事	益 城 町 長	西村 博則
理 事	熊 本 市 議 会 議 長	倉重 徹
理 事	合 志 市 議 会 議 長	坂本 武人
理 事	熊本県中小企業団体中央会会長	櫻井 一郎
理 事	熊本県農業協同組合中央会会長	宮本 隆幸
理 事	一般社団法人熊本県バス協会会長	岩田 昭彦
監 事	菊 陽 町 議 会 議 長	上田 茂政
監 事	一般社団法人熊本青年会議所理事長	大館 敬七郎
会 員	宇 土 市 議 会 議 長	柴田 正樹
会 員	大 津 町 議 会 議 長	桐原 則雄
会 員	嘉 島 町 議 会 議 長	清崎 輝昭
会 員	益 城 町 議 会 議 長	稻田 忠則
会 員	熊本県経営者協会会長	秋岡 廣宣
会 員	熊本県商工会連合会会長	笠 愛一郎
会 員	公益社団法人熊本県観光連盟会長	矢田 素史
会 員	熊本県漁業協同組合連合会代表理事会長	藤森 隆美
会 員	公益社団法人熊本県トラック協会会長	住永 豊武